





SBS 2007 カップ 国際ユースサッカー

8/11土・12日・14火

会場 草薙陸上競技場 藤枝総合運動公園サッカー場 エコパスタジアム

参加チーム

-  U-18 アメリカ代表
-  U-18 ウクライナ代表
-  U-18 日本代表
-  静岡ユース



大会日程

- 8/11 土** 会場/草薙陸上競技場
 静岡ユース VS U-18 アメリカ代表 午後0:30 KICKOFF
 U-18 日本代表 VS U-18 ウクライナ代表 午後3:00 KICKOFF
- 8/12 日** 会場/藤枝総合運動公園サッカー場
 U-18 日本代表 VS 静岡ユース 午後3:00 KICKOFF
 U-18 アメリカ代表 VS U-18 ウクライナ代表 午後5:20 KICKOFF
- 8/14 火** 会場/エコパスタジアム
 U-18 日本代表 VS U-18 アメリカ代表 午後2:00 KICKOFF
 静岡ユース VS U-18 ウクライナ代表 午後4:20 KICKOFF

前売券 好評発売中

	前売券	当日券
一般	1,300円	1,500円
高校生	600円	800円
中学生	300円	500円
小学生	200円	300円

※前売券は1枚で3日間有効 ※一般券は1枚につき小学生以下1名無料

- チケット取り扱い**
- チケットぴあ (Pコード 680-626) ファミリーマート、サークルK、サンクス
 - ローソン (Lコード 41987)
 - セブンイレブン
 - 静岡新聞社・静岡放送 (本社事業局、東部総局、浜松総局)

- 主催/ (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送
- 後援/ 外務省、文部科学省、アメリカ大使館、ウクライナ大使館、静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県国際交流協会、開催各市、開催各市教育委員会、開催各市国際交流協会、TBS、(社)静岡県サッカーを愛する会
- 協力/ 清水エスパルス、ジュビロ磐田、P-マ
- お問い合わせ/ 静岡新聞社・静岡放送事業局内 大会事務局 TEL.054-284-8927

彼らの軌跡 ここに! ON-AIR スケジュール

- 7/13 (金)** 深夜0:55~1:00 出演/ 中山雅史
- 7/20 (金)** 深夜0:55~1:00 出演/ 中山雅史
- 7/27 (金)** 深夜0:55~1:00 出演/ 中山雅史
- 8/ 3 (金)** 深夜0:55~1:00 出演/ 矢野貴章
- 8/ 6 (月)** 深夜1:25~1:30 出演/ 矢野貴章
- 8/ 7 (火)** 深夜0:55~1:00 出演/ 長谷川健太
- 8/ 8 (水)** 深夜0:55~1:00 出演/ 長谷川健太
- 8/ 9 (木)** 深夜0:59~1:04 出演/ 長谷川健太
- 8/10 (金)** 深夜0:55~1:00 出演/ 今大会注目選手

※放送時間は、変更になる場合もあります。

特集：2007 SBSカップ 国際ユースサッカー [中山雅史編]

ジュビロ磐田 中山雅史選手 「SBSカップ国際ユースサッカー」を、語る。

〈連載第2回〉

84年藤枝東高校での出場に続き、翌85年は念願の静岡県高校選抜の一員としてSBS杯に出場した中山選手。ポジションは、ディフェンダーだった。県選抜はカズが所属していたブラジルのキンゼ・デ・ジャウと引き分け、決勝で韓国の強豪、青丘テヨングウ高校を下して優勝。体を張った守りと果敢なオーバーラップでチームを牽引した背番号3は大会 MVP に輝いた。現在39歳。不世出のストライカーにとって、SBS杯はその後の階段を登るきつかけとなつたステージ。当時の映像をみながら思い出と想いを語ってくれた。



中山雅史選手 プロフィール
 1967年生まれ。静岡県志太郡岡部町出身。藤枝東高校から筑波大学を経て90年にヤマハ発動機に入社。93年、アメリカW杯を目指す日本代表のFWとして活躍し、魂でゴールに迫るプレーと明るいキャラクターで「ゴン」の愛称とともに人気は全国区に。本大会へ代表を牽引したフランスW杯では日本人初のW杯得点者となる。94年にJに昇格し6度のステージ優勝と3度の年間王者に輝いたジュビロでも不動のストライカーとして活躍。得点王2度、最優秀選手1度、ベストイレブンを4度受賞。Jリーグで14年目の今季、5月にゴールを決め、J通算得点は最多の156に。謙虚さと向上心、徹底した自己管理を貫き、前人未踏の記録を更新中。

のし上がっていく上で大事な大会

静岡県選抜では、ポジションはディフェンダーでしかなく、抵抗はなかったですね。当時は、とにかく県選抜に入ってSBS杯に出ることが目標でしたから、ポジションはどこでもよかったです。高3になる前の春休みの県選抜の韓国遠征で初めてディフェンダーをやった程度の結果を残せたので、それがちょっと自信にもなっていました。SBS杯でディフェンダーをやった優勝して、しかも MVP をもらえたことは、僕自身にとって大きなことでした。フォワードでだめならディフェンダーでやっていた方がいいかとも思いましたから、ストッパーで最優秀選手になるくらい評価されたなら、そこで勝負をするのもまたひとつの道かなと。実際、その後ユース代表にストッパーと呼ばれて、井原とDFラインを形成したんです。大学でもフォワードをやりながら、学生選抜や日本代表Bチームではディフェンダーをやっていました。そうやって代表に選ばれるようになってのし上がっていく上で一番大事な大会だったと思いますね。

「中山は100点だ」

初戦は静岡北高と対戦して1対0で勝ったけど、試合の後、監督に集められて「全然だめだ」と言われたり、僕だけ褒められたのを覚えていますよ。「中山は100点だ」と。みんなに冷やかされたけど、「まあな」と(笑)。次にキンゼ・デ・ジャウと対戦したけど、カズさんはすでに「目置かれる選手だったから、どう潰そうか」というのは考えましたね。直接マークをする役ではなかったけど、ドリブルでつかけてきたら対応しよう。でも、なかなか飛び込んでこないし安易にこちらが飛び込めばかわされてしまう。ドリブルもボールキープもすこくうまかったですね。試合は武田のゴールで追いついたけど、よくファンチャンスを決めました。振り向きざまの難しいシュートだったけど、武田はうまいですね。今映像を見てもそう思いますよ。その時点でジャウと僕らが戦って

並んで、決勝進出はコイントスで勝って決まったんです。嬉しかったですね。よし、これで満員の中やれるぞ、と。SBS杯の決勝は草薙が満員になるって聞いていて、そういう中でやりたいというのも大きなモチベーションだったから。でも草薙に行ってみるとそうでもなかった笑。それは残念だったけど、決勝は楽しかった。チームはすこく乗っていました。相手の韓国の青丘高校は、それまで静岡県選抜に3対0、4対0で勝っていて、強烈なイメージがあった。僕自身は気合が入っていましたね。チームはいい具合に点も取れたし、僕もオーバーラップをしてシュートも打てた。非常に気持ちよく決勝を戦いました。

フォワードとしても成長したい

高校ではフォワードをやって、県選抜ではディフェンダー。今考えるとすごいことですね。でも、県選抜には武田だけでは足りないフォワードが他にもいて、そこでレギュラーをとるのは難しいかなとも思っていました。真逆のポジションだから勉強になるとも思っていました。ディフェンダーをやることでフォワードとしても成長したいと考えながらやっていました。面白さもありましたね。前があいているから行くと思えば、どんどん上がって行ける。スペースがあるし、非常に視野が開けていて、また違った感覚でボールを持てました。映像を見ると、上がって思い切り力んでシュートを外していますけど(笑)。もうちょっと丁寧にやればいいのには思うけど。でも、夏の真っ盛りなのに、どんどん上がってよく走っている。この頃の僕が欲しいですね(笑)。高校のチームに戻ったとき、ディフェンダーの経験はすこく役立ちました。相手はこういうプレーが嫌だというのがわかりましたから。動き回るとも辛いけど、動き回れるのも辛い。そこは根比べですけど、そういうことも知ることができました。ディフェンダーをやって、しかもレベルの高い海外のチームと対戦してこの頃得たものは沢山あったと思いますね。(続く)

企画・制作/SBSカップ国際ユースサッカー事務局

